



9月16日（火） 「不揃いの木を組む一技を伝え、人を育てるー」

世界最古の木造建築といわれる法隆寺は、不揃いの木を組み合わせているからこそ千年以上経った現在でもその姿で人々を魅了している。曲がった木の芯を見つけ出し、不揃いの木を組むことの大切さや、先人の仕事に対する努力と不屈の精神をたどり、伝統と文化を継承することの大切さについて考えました。

## みんなの感想

### 1年生

- 僕は最初「芯って何?何だそれ…。」と思っていたけど、みんなと話し合ったことで仕事をするときには、自分の中で1つの芯を通すことが大事。また、それがあることによってみんなで支え合い大きなことを成し遂げられることが分かりました。
- 技術と精神面が組み合わさることで何かを造り上げることができることを知りました。この「不揃いの木」は、人に置き換えて考えると、人の側面だけでなく、本質も見て関わると、互いに支え合いながら生きていけると思いました。
- 木の芯を見つけること、本質を見抜く的な事を母が言っていたのを思い出しました。側面からだけじゃなく、いろんな角度から人を見て、その人について理解をして、支え合うことが大切だと分かりました。今ある技術の範囲じゃなくて「もっともっと先に、今よりもっと」を忘れずに生きたいです。
- 不揃いでもみんなで支え合うことが大事だと思いました。みんなで支え合うことで一人ではできないこともできるようになるし、みんなで補い合うことができると思います。
- できるか分からぬことを諦めずにつくることはすごいと思いました。木の特徴は人と同じで、その一つ一つを支え合うというのも人と一緒だと考えます。ここから学んだことを生活で使えたらしいなと思います。
- 不揃いの木でも芯があれば何かをつくったりできるので、自分と相手のよいところや、自分のよくないところが分かれれば、何かちょっとできることができる増えれるかもしれないと思った。



### 2年生

- 諦めない心や、気質も性格も違う人たちが集まりまとまるこの大切さがこの短い3ページに込められていると感じました。部活とかでもしんどいことはあるけど、乗り越えて頑張ろうと思えました。
- すごくいい話だなと思いました。「支え合う」って言葉は、私はすごい好きで、ソフトテニスでも一人がミスしても、もう一人が支える(カバーする)ことを忘れず大会に臨みたいなと思います。
- それぞれの形とか考え方があるけど、1つになって支え合っていくというのはとても大切なことなんだなと思いました。法隆寺を建てた人も、みんなが1つになって同じ気持ちで頑張ったからだと思います。
- 古代の塔を建てた人々は、現代の人達の考え方とは異なり、造り上げようとする心があるということが分かりました。現代にも古代にもそれぞれ良さがあり、道具がなかった古代でもみんなが支え合えば建てられることも分かりました。
- 昔の人はどんな仕事でも、形が不揃いだったり、うまくいかなかったりするときはあるけど、それでも完成させようという不屈の精神が大切なんだと思いました。これからテスト勉などでうまくいかないことがあるだろうけど、諦めず折れなければ必ず報われるから、頑張りたいです。
- 何かをするためには、物事に対する不屈の精神、やり遂げようとする気持ち、互いに支え合って1つになること、外側からではなく芯を見つけるということが大切ということが分かりました。なので、不屈の精神、芯を見つけることをして、いろいろなことに挑戦したいです。

### 3年生

- 小川さんが言っていた「仕事に対する不屈の精神、造り上げようとする心が大切」というところが心に残りました。何かをするときに言われたことや自分ができうことだけをするのではなく、それ以上のことができるようにならうとしました。千年以上前の人人が未来に残るものを創ったように私に何ができるか考えたいです。
- 建築物だけを見て、すごいなと思えるのは、それを造り上げるまでの様々な思いを持った人のおかげだと思った。建築に携わった人は「自分たちの時代を伝承したい。」など来世や、千年以上後に生きている人たちに、建築で気持ちや考えを伝えようとしていたのだと思う。
- 薬師寺や法隆寺には、昔の人の誇りや思いが中に詰まっているんだなと思った。昔の作業は1つ1つがすごく大変そうだけど、周りの仲間たちと一緒に造ることで、苦難を乗り越えられたんだと思う。現代でも、必要なないものを捨てるではなく、自分たちの手で芯を見つけ、使えるように努力や意識をすることが大切だと思った。
- 木一本一本が支え合うは、僕たち人間の一人一人支え合うことと同じだと思った。なにごとに対しても、成し遂げようとする気持ちと心が大切だと思った。
- 何かを建てるときに昔と今で共通していることは、一人一人がバラバラなことをするのではなく一人一人の個性を生かして、協力し支え合うこと。何をするにも一人でできることはなく、必ず周りの人や身近な人がいて、支えてくれていると思います。
- 昔の大工さんみたいに、高い技術を持ったうえで、それ以上に何かを作り出そうという気持ちがとてもかっこいいなと思いました。不可能って思ふんじゃなくて、行動に移したり、強い思いを持ったりすることが大切だなと思いました。私もこれから強い思いを持っていきたいです。

きりとり

この通信をご覧になっての感想などを書き下さい。返信欄は切り取ってお子様を通じて担任まで提出して下さい。ご協力よろしくお願いいたします。